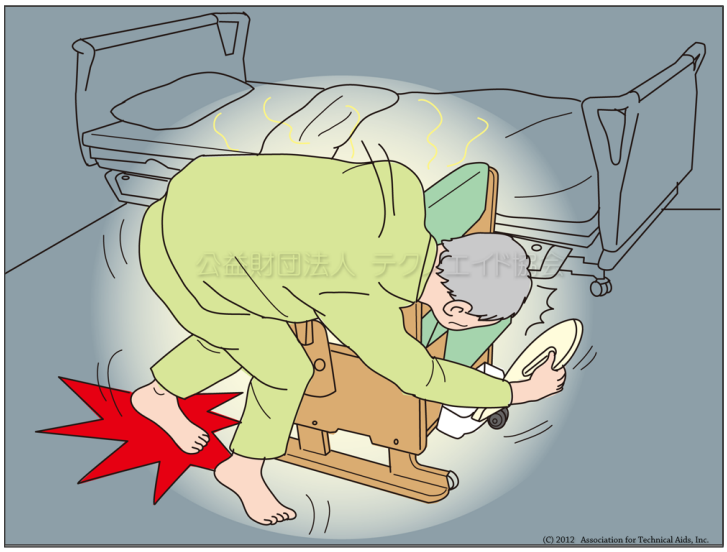
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：87

ポータブルトイレの中蓋を取ろうとして、転倒しそうになる

場面の説明

夜間、ニオイが気になり、本体の後ろにある中蓋を取ろうとして、転倒しそうになった



利用シーン	排泄 夜間
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	腰掛便座
分類コード(CCTA95)	091203 (ポータブルトイレ)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

中蓋の開閉も含め、利用者がどの程度の操作を行うのか、あらかじめ想定し、利用者が行わない操作についてどう対処するのかを決めておくことが大切です。この事例では、利用者の歩行能力から中蓋を取りに行くこと自体が危険であったと考えられます。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：中蓋の開閉について、利用者が行うことを想定していなかった
モノ：中蓋が取り出しにくいところに収納される製品だった
環境：部屋が暗くて見えづらかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：87

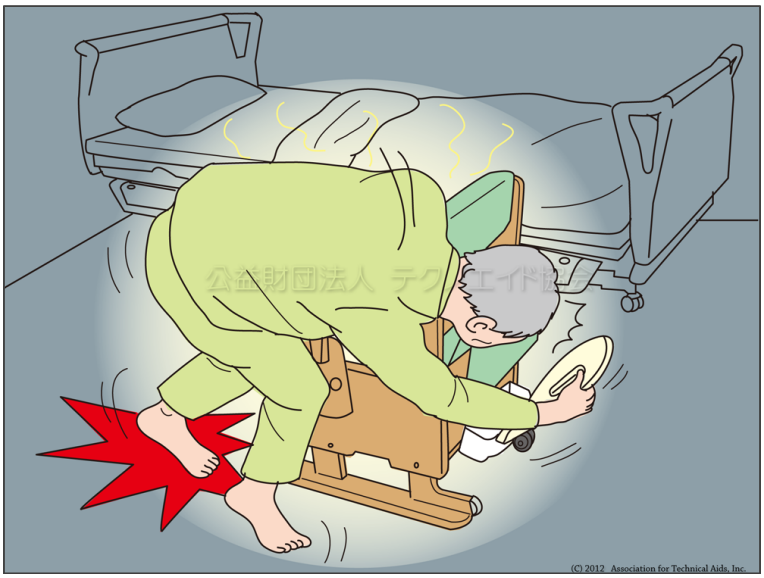
ポータブルトイレの中蓋を取ろうとして、転倒しそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

夜間、ニオイが気になり、本体の後ろにある中蓋を取ろうとして、転倒しそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.